

木花咲耶姫命、父神の元に 静岡浅間神社で「昇祭」

浅間神社の祭神「木花咲耶姫命（このはなさくやひめのみこと）」の元に「晩里帰りが、父神の「大山祇命（おおやまつみのみこと）」を祀る神事「昇祭」が行われる。4日は「降祭（くだりさい）」を行う。



木花咲耶姫命のみ霊を麓山神社に送り届ける神職静岡市葵区の静岡浅間神社で行われた。白い装束に身を包んだ神職7人が行列をつくり、浅間神社で木花咲耶姫命のみ霊を迎えた後、約100段の石段を登って父神を祭る麓山神社に送り届け、祝詞を上げた。江戸時代の絵図にも描かれた伝統の祭事で、春と秋の年2回行われている。4日には木花咲耶姫命が浅間神社に帰る「降祭（くだりさい）」を行う。

2019年11月4日朝刊

- ① 静岡浅間神社は「浅間造」と呼ばれる社殿形式である。他に、どのような神社建築の種類があるか調べ、それぞれの特徴をまとめよ。

- ② 静岡浅間神社は「立川流彫刻」で社殿が装飾されている。「立川流彫刻」を調べ、その美術的な意味と歴史的な意義を考察せよ。

- ③ 木花咲耶姫命は静岡県の誇る富士山の神ともいわれる。富士山頂所有権訴訟の過程を調べ、最高裁が下した富士山本宮浅間大社の境内地であることを確認した判決について考察せよ。

年 組 名前